

青少年指導員だより

■防犯に関すること

日頃より子供たちの安全にご尽力いただきましてありがとうございます。
昨年度になりますが、「攻める防犯」始めませんか？というテーマで、東京未来大学子ども心理学部長 出口 保行氏による講演を聴講させていただきました。（以前は、法務省にて心理職をしており、刑務所で犯罪心理学を分析されていました。）

犯罪は、地域によって特徴が異なります

同じ市内でも、地域によって犯罪の特徴が異なります

例：辻堂(商業地区)と大庭(住宅街) ⇒ 地域性が違うので犯罪傾向も異なる

警察・行政が細部まで全部を防犯することは難しい



民力（地域力）が必要

積み上げが大事

足立区は23区で万年、犯罪発生件数ワースト1位でした。出口さんは、改善の為、防犯専門アドバイザーを任されました。

3～4年では成果が出ず ⇒ 5～6年でやっと成果が出る(ワースト3位)
⇒ 以降も維持、でも防犯を止めるとまた戻る可能性がある

この場所、また防犯が
緩くなったな…☹

**今、防犯を止めると、
今後、悪化していく可能性がある**

犯罪者も
犯罪しやすい場所
をアップデート
している

✓ 守る防犯とは

環境整備・防犯グッズなど

でも、これだけでは
守り切れない

✓ 攻める防犯とは

犯罪者側の目線で防犯する(犯罪者にさせない防犯をする)

行動を起こしてしまうと犯罪者になるが、動機形成(犯罪を実行しようという気持ち)があっても、**行動を起こさなければ犯罪者にはならない**

※犯罪を起そうとする者は、犯罪発生までに、何度も「実行する(Yes)」か「やめる(No)」で迷っているので、その流れのどこかでNoを選ばせること

犯罪者の心理

- ・顔見知りになると犯罪を起こしづらくなる(動機形成をしても行動に移りづらくなる)
- ・あいさつ(防犯する側には日常的なこと) ⇒ 犯罪者側はリスクが高い

あいさつは、一番身近な防犯

人が
1人いるだけでも
寄ってこない
ことが多い

犯罪者はリスクと犯罪を起こす労力を天秤にかけている

- ・強制わいせつの犯罪者は強姦犯罪者に比べて、警戒心が強い
- ・通勤型の犯罪が多く、顔が知られていない地域外の人が多い

補足) 強制わいせつ：暴行又は脅迫を手段としている、性交等の目的が不要
強姦：暴行又は脅迫を手段としている、性交等の目的必要

リスクが高い近所では
やりたくない(><)

Gaccom安全ナビ：
<https://www.gaccom.jp/safety/area/p14/c205>

▶ 効率の良い防犯をするために

実は思い込みが多い

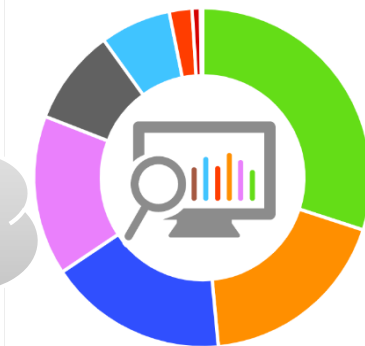
- 問① 少年を狙った犯罪は、午後5時台が多い
- 問② 少年を狙った犯罪は、公園で最も起こりやすい
- 問③ 少年を狙った犯罪の対象にもっともなりやすいのは5歳未満の幼児である

↑ 289問のうち最も間違えやすい9問の中の3つ抜粋

答え：全部✕
 ①15時~16時台 ②路上 ③7歳

15時~16時台/路上/7歳
 3つで思い当たることは
 ありませんか？
 (小学生低学年の下校時刻)

神奈川県藤沢市の治安情報の事件種別分布



- 不審者/声かけ:30.1%
- 子ども被害:18.6%
- 器物損壊/交通:17.2%
- ちかん/のぞき/盗撮:15.3%
- 行方不明/詐欺・偽装・迷惑行為:9.2%
- ひったくり/窃盗/住居侵入:6.8%
- 暴行・暴力/凶器・武器/強盗・脅迫:2.2%
- 火災/気象・災害:0.8%
- 怪我:0.2%

犯罪は同じような場所で起こりやすいことから、
 犯罪が起こりにくい時間帯・場所で
 防犯するのは効率が悪い



- ・ 犯罪の起こりやすい場所を意識する
- ・ 大勢で1回の防犯より、人数を分散して全体の回数増やす

大庭地域における傾向

- ・ 不審者が多い ⇒ 登校時間が多い
- 旗振りは、
 交通安全として行いますが、
 防犯の役目も果たしています

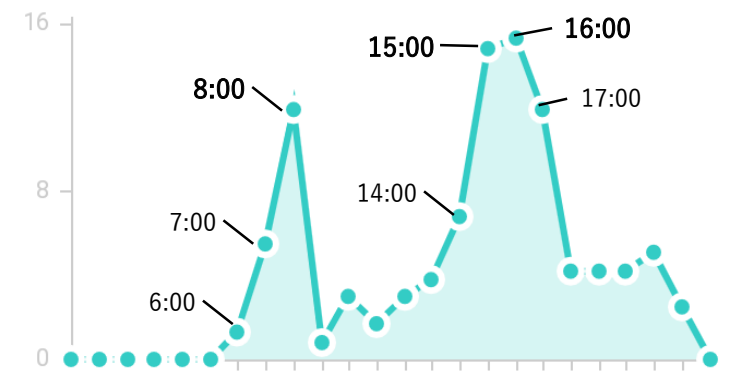
被害にあったら、
 すぐ藤沢北警察署へ
 0466-45-0110 (代表)

PTAホルダーを付けて
 子ども達に
 安全な大人であることを
 知ってもらいましょう
 子どもは安心♡



旗振りのご協力をお願いします

神奈川県藤沢市の子ども被害情報の発生時間分布



凶悪犯罪(想定外の犯罪)は新たに起こるもので、なくなることはありません。想定できない犯罪の防犯を考えるより、身近な犯罪の防犯を強化することが大事であると思います。